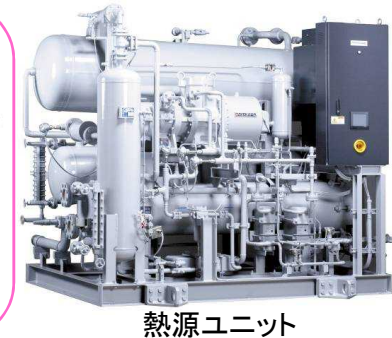
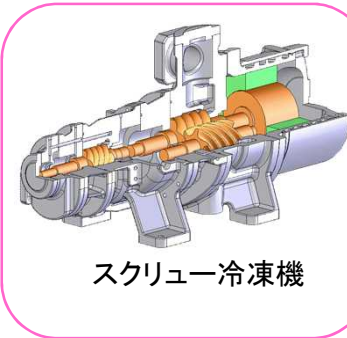
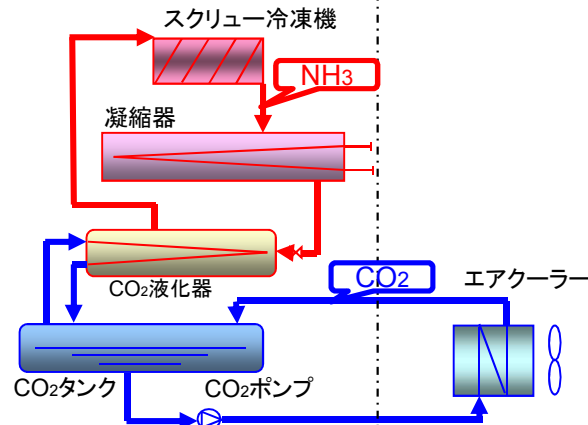


食品工場の冷凍倉庫・急速冷凍施設における高効率冷却装置の導入

プロジェクト実施者: (日本側)前川製作所、(インドネシア側)PT. Adib Global Food Supplies、PT. Mayekawa Indonesia

温室効果ガス排出削減プロジェクトの概要

今後の経済成長に伴い、食品の冷凍・冷蔵の需要増が見込まれるインドネシアにおいて、自然冷媒(アンモニア(NH<sub>3</sub>)及び二酸化炭素(CO<sub>2</sub>))を利用した高効率の冷却装置を、冷凍・冷蔵倉庫のコールドチェーンに導入する。冷却装置は、新菌型を採用した二段式スクリー冷却機を用いるとともに、高効率IPMモーター(永久磁石内蔵型同期モーター)と一体化することで、冷却設備の高効率化を実現している。この高効率冷却装置の導入により、冷凍・冷蔵倉庫での省エネを達成するとともに、温室効果ガス排出量を削減する。



JCM設備補助事業実施サイト

PT. Adib Global Food Suppliesの食品工場の冷凍倉庫・急速冷凍施設(ジャカルタ近郊)

想定CO2削減量

165 tCO<sub>2</sub>/年(2020年までに約1,000 tCO<sub>2</sub>/年)

- ← 高効率冷却装置により、約22%の省エネ(電力消費量の削減)を達成。
- ← リファレンス電力消費量(想定): 942 MWh/年
- ← プロジェクト電力消費量(想定): 738 MWh/年
- ← 電力のCO<sub>2</sub>排出係数: 0.814 tCO<sub>2</sub>/MWh

